

なんだ・かんだ

◆ 中国人留学生 ◆

当社では昨年12月から、来年度の新卒学生を対象に募集活動をしています。合同企業ガイダンス、会社説明会、グループ面接、SPI試験を経て、現在最終面接という段階へ入っています。そんな中で、先日中国からの留学生の面接をして大変考えさせられてしまいました。

一人っ子の彼は、高校の時に将来のことを考えて、海外へ出て自分を試してみたいと思い、親を説得して日本へ出てきました。日本語もまだ余りわからない中、日商簿記3級と車の普通免許を取得。日本語で書かれた問題の意味を完璧に理解することが出来ない時期だったので、同じ問題を100回解いて、問題を暗記して合格したそうです。

家からの仕送りも、最初の年は授業料だけ出してもらったそうですが、翌年からは成績優秀者で授業料の減免もあって、親からの仕送りは「0」でやっているそうです。学校の単位も既にほとんど取得してしまい、卒論指導を残すのみ。卒業は確実だそうです。

アパートは先輩とシェアし、生活費と授業料を稼ぐ為に、午前中はハンパーショップで夕方からはレストランで働いています。テレビを見て日本語の勉強にもなるけれど、やはり実際に会話をすることが一番勉強になる。仕事をする事によって日本語の練習にもなると言っていました。漫画を見たり、雑誌を見たりする時間はもったいない。もっと勉強したいと・・・

一方、今どきの日本の大学生はどうでしょうか。こんなにまじめで、将来について考えているのでしょうか。

自分の学生時代を棚上げさせてもらいますが、私の息子を含め私の周りの大方の大学生(もちろん問題意識を持って行動している人はいますが)は、大学の授業はしっかり出ているようですが、休みの日はアルバイトもせずにゲームや漫画、録画しておいたアニメを見たりと、たまに出かける時はクラブの飲み会。知らない世界へ飛び込んだり、将来について考えたりするようなことはほとんどないと思います。親は口うるさく、テレビばかり見ているとか、ゲームはほどほどにしないかと注意しても馬耳東風。自分で問題意識がないからどうにもなりません。

この留学生の親は、はじめは反対していましたが、子供の自立のために今は賛成しているそうです。この辺の所も子離れができないモンスターペアレンツが多い日本とは違うところだと思います。

3年前にVOL.38に載せたデータですが、日中韓で2000人の学生の勉強時間(学校の授業・宿題・塾等を合わせた1日の平均時間)を調査した結果

	日本	韓国	中国
中学生	8.0時間	9.8時間	14.0時間
高校生	7.6時間	11.0時間	12.9時間

ということで、圧倒的に日本の学生の勉強時間は少ないのです。「ものづくり日本」「技術立国」というようによく言いますが、このままではそんなことを言われるのも今の内だけだと思います。数年後には取り返しのつかない位らしいの差がついてしまうでしょう。本人達の自覚、親の自覚、そして、政治の自覚そして変革が必要だと思います。



やっと春がやってきました

気が付けば桜もいつの間にか散ってしまい、暖かい春の日差しが注ぎ、時には夏日になるような日も出てきました。それにしても今年は本当に春の訪れが遅かったように感じます。おまけに個人的には3月に入り目がかゆくするなど、今まではなかった花粉症の症状が出てきてちょっとブルーな気分が今も続いています。

先日の新聞に「企業業績 今季回復へ」という記事が一面に大きく出ていました。東日本大震災とタイの洪水の打撃を克服し、来年の3月期について増益見通しを発表する企業が相次ぎ、上場企業の業績が回復に向かう傾向が鮮明になってきたということです。

リーマンショック以来厳しい経済状態が続いていましたが、久しぶりに我が国の経済状況は良い方向へ向かいそうな感じがします。リーマンショックの頃はマスコミがマイナスイメージを植え付ける様な報道をしていたので、消費者はもちろん経営者のマインドも萎えていた様に思います。この雰囲気というのがとても大切だと思います。景気が良くなると思えば、消費も増え、企業の設備投資意欲も上がるといってもいいものだと思います。

代表取締役 服部 敏一郎

チキリについて⑧

● 建築工事 ●

前号で書いたように、産業資材販売をしていたお客様から、小さな塗装のお仕事を頂くようになったのをはじまりとして、建築工事を請け負うようになりました。

当初は500万円以上の請負工事などはなかったのですが、知らないとは怖いもので、建設業法もしっかり理解しない中で仕事を請けていた状態でした。だんだん請け負う金額も大きくなってきて、あわてて2級の施工管理技士の資格を取得し、県の建設業許可を得るなど、今から思えばかなり危なっかしいことをしてきたと思います。

その後、中途採用で建築工事の施工管理や営業の経験者を採用し、現在は二級建築士が3名、一級の建築施工管理技士が4名、2級が3名、その他管工事や造園の施工管理者数名と何とか建設業者としての体を整えることが出来ました。

建築工事を請け負うようになって、かれこれ25年経ちますが、今では工場建屋の保全工事、事務所の内・外装工事、駐車場や通路の舗装やエクステリア工事、住宅のリフォーム工事、そしてアパートやマンション等集合住宅の大規模改修工事と建築全般の工事を請け負うようになり、当社の売上の半分を占めるまでになっています。



■ 会社組織変更 ■

新しい期を迎え、一部以下の通り組織変更をしました。

- ① 営業部で営業3課を新設。課長は、営業1課から小坂真弘が就任。ここ数年、営業成績が飛躍的に伸び、一人では回らなくなってきたので、二人体制とし、より一層のサービスの拡充を図る為。
 - ② 建設1課の芦川吉治が、特販部へ移動。来年特販部の人員増を予定していましたが、早期の増員が必要になった為、ベテランの芦川をコンパート。
 - ③ 新入社員として、川口真太郎が入社し、営業3課へ配属。一昨年から活動していた新卒採用で今期入社。期待の新人です。
- 新課長・新入社員につきましては、来月以降ご挨拶させていただきます



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。N

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/